

委員会活動計画書

委員長名 大木 幸子

【委員会名】 教育課程委員会	
【メンバー】 ◎大木 幸子（杏林大学）， 表 志津子（金沢大学）， 桑原 ゆみ（札幌医科大学） 鈴木 美和（淑徳大学） *¥平野 美千代（北海道大学）， *藤井 広美（了徳寺大学） ◎委員長、*役員以外の委員、¥会計担当、（ ）所属名、50 音順	
【活動方針】 教育体制や教育評価の調査を継続し、保健師教育の質の保証のあり方について検討する。 1. 全保教版ミニマム・リクワイアメンツコンパクト版 2016の普及を行うとともに活用方法の検討を行う。 2. 看護師教育における地域看護学教育を検討する。 3. 全保教版ミニマム・リクワイアメンツ 2014、「MR2014 を活用した看護学実習の展開」、コンパクト版 2016 を踏まえ、28単位保健師教育で重視すべき教育内容とそのための効果的5単位実習の検討を行う。	
平成 28 年度	
達成目標	1. 全保教版ミニマム・リクワイアメンツコンパクト版 2016 を普及する。 2. 看護師教育における地域看護学教育を検討する。 3. 公衆衛生看護学 5 単位実習に関する先駆的実践例について情報を収集する。
活動計画	1. 委員会開催 ① 全保教ミニマム・リクワイアメンツコンパクト版 2016の普及方法、活用方法を検討する。 ② 看護師教育における地域看護学教育についての検討のための調査・意見交換について企画実施する。 ③ 5 単位実習の実践例の情報収集について検討する。 2. 全保教版ミニマム・リクワイアメンツ 2014 及びコンパクト版 2016 の普及を行う。 ① 会員校への報告書(全保教版ミニマム・リクワイアメンツコンパクト版 2016)を配付する。 ② ホームページへのアップを行う。 ③ MRコンパクト版 2016 を活用した教育評価について会員校間での情報交換・意見交換を行う。(研修委員会と協議をし、研修会での実施を検討) 3. 看護師教育における地域看護学教育についての検討 ① 地域看護学教育に関する取り組み実態の把握及び取り組み例の収集を行う。 ② 会員校間の意見交換を行う。(研修委員会と協議をし、研修会での実施を検討) 4. 公衆衛生看護学 5 単位実習の実践についての情報収集 ① 5 単位実習の実践に関する情報交換を行う。(研修委員会と調整し、研修会での実施を検討)